



WEEKLY REPORT 2021-22年度 No. 13

逗子ロータリークラブ 第2846回例会

2021年10月14日

2021-22年度 会長：服部城太郎 幹事：鈴木弘毅

事務所：逗子市桜山 6-3-29 TEL & FAX：046-873-0226 E-mail：zushirc@sage.ocn.ne.jp
例会場：「カンティーナ」 逗子市新宿 1-3-15 TEL：046-870-6440 Website：http://www.zushi-rc.com/
例会日：第1・2・4木曜日 12:30 第3木曜日 18:30 第5木曜日 18:00



第2846回 例会プログラム (ハイブリット)

- 12:30 開会宣言 横山副 S.A.A
点 鐘 服部会長
ロータリーソング斉唱
来訪者 (ゲスト・ビジター) の紹介
会長の時間：服部会長
幹事報告：来信・告示事項
委員会報告：
出席報告：
ニコニコ BOX 発表：
- 13:00 卓話「逗子市の自治について」
徳本恒徳様
- 13:30 閉会宣言 横山副 S.A.A
点 鐘 服部会長

10月7日 服部会長の時間



〈コロナ第5波のおさまり〉

やっとリアル例会を行うことができ、ありがとうございます。10月は米山月間です。本日の卓話は、2780地区米山奨学資金推進委員会委員長であり、クラブの米山奨学委員長でもある矢部房男さんです。ぜひ、宜しくお願い致します。

ようやく新型コロナ感染の第5波がおさまってきて、神奈川県の日感染者数も100人を割り込む状況です。感染者数の突然の減少は、専門家も首をかしげているようです。減少の原因としては、ワクチン2回接種が進んだことや、季節的な要因、SNSの動画で若者が危機感を持って夜間の外出を減らしたため、など多くの説があります。

一方、早くもGo to トラベルの再開を検討するとのことで、夜の外出も一斉に解禁の様相です。選挙も間近で、経済を動かすことは個人的には賛成ですが、この間にも、「喉元過ぎれば熱さを忘れる」にならず、医療体制の整備や、保健所人員の拡充、CPR 検査を受けやすくするなど、今の時期に、備えだけは行ってもらいたいと思います。

この間、ふと気づいたのですが、この1年以上風邪をひいていないのです。私は子供のころから喉が弱く、季節の変わり目によく風邪をひきますが、昨年から全く風邪をひかず、薬も飲んでいないことに気づきました。

日本の死亡者数の統計でも2020年の死亡数は11年ぶりに減少しています。老衰死は増えているものの、新型コロナウイルス対策で、コロナ以外の肺炎やインフルによる死亡数が減少したためとみられています。これまで世界の新型コロナウイルス感染者数は2億3千万人、死亡者数は480万人。日本では感染者数が170万人、死亡者数は1万7千人。世界の人口対比(1.5%)でも日本の感染者数(0.7%)、死亡者数(0.35%)は少ないといえます。

日本人は、あらいぐま科か?と思うくらい良く手を洗い、アルコール消毒します。感染者数が他国のように爆発的に増えないのも、国民性が効いていると思います。

コロナに効く飲み薬もそろそろ出てくる様子です。なんとか乗り切ってコロナがインフルエンザ並みの脅威になってくれることを祈ります。

予 定	
10月21日(木)	18:30 逗子 RC・葉山 RC 合同例会 於：葉山国際カンツリー倶楽部 昼：第2GRC 合同ゴルフコンパ
10月28日(木)	12:30 「自分史で日本を元気に」 玄真琴様 逗葉葉山経済新聞編集長
11月4日(木)	12:30 「イニシエーションスピーチ」 熊谷本気会員
11月11日(木)	12:30 「逗子アクティビティーズについて」 加藤慶一様
11月18日(木)	18:00 「60周年記念式典に向けて」 村田実行委員長 各委員長 於：カンティーナ

2845回 例会記録 2021年10月7日(木)

- 出席報告**：会員数 44 名 出席者 26 名 59.1%
- 幹事報告**：・10月ロータリーレート 1ドル 112円
・2024-25年度ガバナーノミニークラブ推薦 11/30迄
- 委員会報告**：・村松雑誌委員長によるRの友解説
・石田ガバナー補佐：エンドポリオのポスターを京急バス180台に中吊広告。ポリオデー10/24に参加を。
・徳永 60周年記念事業副委員長：漁業体験に会員のご協力をお願いします。

卓話 「米山月間にあたって」 矢部房男会員（地区米山奨学資金推進委員長）



ロータリー米山記念奨学事業の話をして戴きます。はじめに米山記念奨学事業の目的と使命ですが、(1) ロータリーの奉仕の精神に基づいた国際理解と親睦並びに世界平和の促進を図る。(2) 学業を通じた異文化理解の為にコミュニケーション能力を備えた優秀な奨学生及び研究者を支援する。(3) 国際社会で活躍し世界平和の構築に貢献できる奨学生及び学友を育成する。(4) 知的活動を通じて国際貢献を目指す。以上となります。

米山奨学事業は日本のロータリークラブ独自の事業であり、日本で学ぶ外国人留学生に対し支援を行い、地区に世話クラブとカウンセラー制度があるのが特徴的です。

沿革ではありますが、1946年（昭和21年）ロータリーの父・米山梅吉氏が逝去、1949年日本のロータリーが国際ロータリーに復帰。東京RCの古澤文作氏が平和日本を掲げ米山基金を1952年に創設。1957年には米山事業が全国RCの共同事業に承認され、1967年には財団法人が設立されました。国際ロータリークラブに於いては2004年11月のRI理事会で米山記念奨学会が賞賛され、2007年に世界全34地区の同意を得る。2014年1月RI理事会で米山が正式に承認されロータリー学友の一員になりました。

米山は外国人留学生を対象にする民間奨学制度として国内最大規模で2021学年度は全国で910名、過去累計129の国地域からの留学生22,267人を支援しています。

奨学生の募集と選考には全国統一基準があり、将来の目標、留学の目的、交流への熱意、人柄の良さ、コミュニケーション能力の高さなどの条件を挙げていますが詳細は公表されておりません。具体的には各地区の選考委員会が選考行い調整を行いません。2780地区では現在、奨学生32人を擁しています。本年5月には平塚市のラスカホールで「米山奨学生と同窓生の集い」が開かれ同窓生のカレンさんおよび米山学友のルイ会長の講演がありました。米山奨学事業は寄付金を含め年間約15億円の規模で行われています。当2780地区の年間寄付額は4,500万円、会員一人の寄付額は19,633円、全国7位にあたり寄付割合も高位にあります。今後も逗子RC会員の皆様に寄付をお願いして本日の卓話を終わらせて戴きます。（担当：稲垣 正）

久々の対面例会



エンドポリオの中吊り広告

10月理事会報告

- ★10月、11月行事予定
- ★11/18 第3例会：18時～20時 カンティーナ。
「60周年に向けて」担当委員長進捗状況を発表。食事代¥5,000 例会費から。
- ★会長ノミニー選考委員会設置（鈴木安・村田・松井・三宅・石田・服部の6名）
指名委員会は11月中旬・魚勝を予定。
- ★60周年記念事業：延期としている漁業体験は、11/21開催予定。会員の手伝いは10-15人程度。磯の観察会は中止、代わりに「えのすい」バックヤード見学を企画する予定。
- ★長期戦絡委員会を始動させる。委員長は大野会員。
- ★畠中会員・松田会員退会。
- ★京都紫野RC訪問11/29
京都紫野RC来逗1/27

ニコニコBOX本日合計 ¥102,000 累計 ¥371,000

服部君…久々のリアル例会、矢部さんよろしくお願ひします。

鈴木弘毅君…久々のリアル例会よろしくお願ひします！

矢部君…本日、卓話をさせて頂きます。

村田君…お久しぶりね。

三宅君、菊池君、匂坂君、横瀬君、古畑君…皆様、お久しぶりです。

鈴木安之君…おひさしぶりーねー。

徳永君…祝・リアル例会。

山本君…やっと普通の例会ができますネ!!

石田君…久々の例会、良いですね。

村松君…やっぱりリアルの例会はいいですね。

山科君…アナログはやはりいいですね。

臼井君…マスク無しの例会が出来るといいですね。

清水恵子…皆さんお元気そうで何よりです。

匂坂君…Zoom 例会の時のニコニコです。

桐田君…少し涼しくなり仕事日よりです。

大野君…久しぶり、対面例会。Zoom を引き続き実施していきます